こども・若者ミライNEWS Vol.2

こども・若者のミライにつながる条例をみんなで考える部会

川西市は、こどもが笑顔になる、こどもが幸せになるために、こどもたちが自分の考えや意見を表明できる機会を保障するため、「(仮称)こども参加条例」の制定をめざしています。
大人だけで考えてつくるのではなく、当事者であるこども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについての話し合いを通じて、より良い条例づくりを進めています。

7月27日(土)に第2回を開催！！
みんなで意見やアイデアを出し合った「夢と希望の島」

第2回では、約30人のこども・若者が参加しました。
部会の冒頭では、「みっちー」ことファシリテーターの渡邊充佳さんから、前回実施したすごろくの内容やなんでやんの木についての説明がありました。
その後、9歳から29歳を対象に実施したアンケート調査の結果を参加者みんなで共有をしました。
アンケート結果では、川西市のまちづくりに言いたいことはあるけど、伝えようと思うのは10人いたらわずか1人という結果でした。

ファシリテーターの渡邊さんより、

「そういうことなら…、こども・若者のみんなで意見を出しあって
『夢と希望の島』をつくったらどうなるかな？」

という問いかけから、「夢と希望の島」づくりが始まりました。

「夢と希望の島」作成の様子

参加しているこども・若者のみなさんは、それぞれが思い描く「夢と希望の島」について、自由な発想で自分の意見やアイデアを次々に発表していき、各グループそれぞれで個性のあるステキな島が完成しました。

完成後は、「夢と希望の島めぐりツアー」を実施し、各グループのファシリテーターがガイド役となり、島の魅力などを他のグループの参加者へ説明をしました。

意見を言いやすいとき、言いにくいときはどんなとき？

後半では、ファシリテーターのみっちーより、「夢と希望の島をつくるときにはみんな自分の考えや意見を言えたのではないかと思います。でも、ふだんの生活では意見が言いやすいときもあれば、言いにくいときもあるよね。それってどういうときかな？」という話があり、参加者で「どんなとき、どんな場所、どんな人になら、意見が言いやすいかな？」などについて、意見交換をしました。
参加者からは以下のとおりさまざまな意見が出ました。

意見を言いやすいとき

- 否定や反対されないとき
- 学校
- 少人数のとき
- 親しい友人
- こういう何でも話してもいいような場
- 共感してくれるとき
- 年齢の近い人がいるとき

意見を言いにくいとき

- みんなが無言のとき
- 緊張したり恥ずかしいとき
- 否定されたり賛同してもらえないとき
- 偉い人や目上の人
- 怒られているとき

【問い合わせ先】川西市こども未来部こども政策課　TEL：072-740-1246